

令和6年度 秋田県立矢島高等学校
第2回学校運営協議会 議事録

【日時・場所】

令和6年10月2日（水）14：10～15：25

秋田県立矢島高等学校 大会議室

【出席者】

1 学校運営協議会委員

茂木 雅人 【本海流坂之下番楽講中】
滝野由紀夫 【元由利本荘市役所矢島総合支所長】
真坂 伸子 【矢島保育園園長】
大庭 良久 【矢島小学校校長】
東海林俊介 【矢島中学校校長】
池田美和子 【矢島高等学校PTA会長】
藤原 淳 【矢島高等学校校長】

2 矢島高等学校 [事務局]

関屋亜生以 【教頭】
内田 隆仁 【事務長】
高橋 晃二 【教諭（総務部主任・WG1委員長）】
佐藤 久男 【教諭（教務部主任・WG3委員長）】
土田 伸也 【教諭（商業科主任・YBP担当・WG2委員長）】
大坂 充孝 【教諭（生徒指導主事）】
黒木 育子 【教諭（進路指導主事）】

※ 学校運営協議会の前に各ワーキング・グループでの協議を実施

【議事概要】

1 出席者紹介

関屋教頭が、出席者を紹介した。

2 校長より

本日はお忙しい中、この会に参加していただきまして、本当にありがとうございます。日頃より本校の教育活動に対しまして、御支援、御協力いただきまして、厚く感謝申し上げます。日程調整がうまくいかず、今回は欠席者が多くなってしまいました。本当に申し訳ございません。人数は少ないですが、参加していただいた皆様からは、忌憚のない御意見をお聞かせ願えればと思います。

学校の取組について何点か紹介します。まず、本校の目玉である地域創造コースビジネス系の活躍についてです。やしまブランディングプロジェクト（YBP）の取組ですが、7月中旬にミルハスで秋田県高等学校生徒商業研究発表大会がありました。この大会において優勝し、秋田県代表として8月の東北大会に5大会連続で出場を果たしました。各県2校ずつ、12校が参加する大会ですが、昨年度は6位、今年度は7位という結果に終わりました。生徒も自信を持って戻ってきました。東北大会出場に当たり、同窓会の皆様を始め、御支援いただきありがとうございました。

本校に関わる大きな動きとして、6月に公表された第八次秋田県高等学校総合整備計画の素案があります。本日お配りの資料ですが、秋田県教育委員会が作成した資料です。そのため、この資料の中身について、本日質問されても、適切な回答ができないかもしれませんので、その点は御了承ください。本校では、校長、教頭、事務職員1名が説明会に参加しましたが、我々も一般の方と同様に説明を受ける側の立場として話を聞いてきました。当日は活発な意見交換が行われ、同窓会の皆様、矢島高校を応援する会の皆様から本校を思う熱い気持ちを県教育委員会の方に伝えていただきました。その中で、将来の子どもたちのために教育環境を整える必要があり、目指す教育環境として、学びたいものを学べる環境、好きなスポーツや文化活動ができる環境、多様な個性との出会いのある環境、社会性を身につけることができる環境という話がありました。この4つの環境が現時点では、本校は満たすことができないのではないかという話でした。さらに、魅力のある学校として、充実した学習活動、選択科目が充実していること、充実したスポーツや文化活動、多様な個性との出会いがあるという話がありました。最後に、一学年4学級以上が望ましいという話がありました。その上で、2年続けて募集定員の3分の2を満たしていない学校は、本校を含めてですが、地域校にすべきであるという意見があり、素案と

して発表されたということです。素案が発表されてから、学校職員から意見をもらい、県教育委員会に届けました。皆様方や学校職員の意見を踏まえながら、県教育委員会ではさらに検討をして、令和8年に案がとれて、総合整備計画として公表されます。地域校となった場合には、地域校として現在の校舎を利用して、地域に根ざした教育を目指すことに変わりはありませんが、名称は矢島高校ではなくなり、〇〇高等学校矢島校となり、〇〇に相当する学校が本校となります。校歌や校章は残してもいいという話がありましたが、交友歌やレガシーとして残すことはできても、校歌や校章は本校のものを使うことになり、今ある矢島高校の校歌や校章は使われなくなるようです。校長は基本、本校にすることになるので、地域校には地域校の教頭が常駐する形になります。本校には教頭が1、2名いて、地域校には別の教頭がいる形になります。説明の中では、統合する学校もたくさんあり、統合した学校については校舎が変わることがあり、通学に不便な生徒が出てくる、ただし、地域校としては、今ある校舎を原則使うので、通学する生徒に関しては、それほど不便にはならないという話がありました。我々としては、校歌や校章がなくなるのは非常に大きなことだと考えています。本当に残念なことですが、現在の入学者数の減少を考えると、この素案もやむを得ないのではないかという気持ちもあります。

第1回運営協議会の際、予算について、本来は運営協議会で承認が必要だが、年度がスタートしている関係で進めさせていただいているという話をしました。予算書を資料に載せるべきではないかという話もあり、今回の資料に学校運営費やPTA会計や教育活動費について載せています。来年度以降も、協議会の承認を得ず、4月の段階でPTA総会で承認を得たのち、予算を執行し、この会では報告のみという形で進めさせていただければと思います。

本校では、日新という学校独自の広報誌を作成して、矢島地区を始め、ご家庭に案内をさしあげているところですが、職員数もだいぶ減ってきており、今年度から2回の発行ということになりました。情報発信の場として何かないか、由利本荘市の広報誌に原稿を載せてもらうことも考えましたが、この地区だけではなく、秋田県内や県外の方にも矢島高校のことを知っていただきたいということで、可能な限り毎日ホームページを更新して、学校の情報を発信するようにしています。興味のある方は、ホームページで、「きりり矢島あなたへ」というタイトルをクリックしていただければ、その日に見える鳥海山や学校行事について写真で紹介しています。ご家族の方、知り合いの方にホームページを紹介していただき、一人でも多く、矢島高校だけではなく、矢島地区に興味をもっていただければと思います。

3年生の進路状況についてですが、内定をいただく生徒がいる一方、残念な

がら1社目で不合格という結果になる生徒もいます。この後は、進学希望者を対象とした入学試験も始まりますが、学校としては、学年部と進路指導部が連携しながら、1回目で採用していただけなかった生徒も含め、全ての生徒の進路実現に向けて、最後まできちんとサポートしていきますので、御協力いただければと思います。

今後の学校行事として、今月19日に学校祭の一般公開があります。入場制限なしで行いますが、今年度は昨年実施できなかった模擬店を行う予定です。都合がつく場合は、お越しいただき、生徒が活躍している姿を見ていただければと思います。2年生の修学旅行は、予定どおり11月11日から14日まで、3泊4日の日程で関西方面で行います。

この後の協議で、各ワーキング・グループからの報告があります。委員の皆様からは、様々な角度で忌憚のない御意見をいただければと思います。本日はよろしくお願ひします。

3 協議

① 各ワーキング・グループからの報告

各ワーキング・グループの事務局担当者が、資料に基づき、協議内容や取組状況について、報告を行った。

(意見・質疑応答)

大庭委員 : グループ1で小中高連携について話し合ったことは、グループ2のテーマである地域活性化につながることもある。各グループで話し合ったことは全体で共有して、グループに関係なく協議を進めてもいいのではないか。

関屋教頭 : 便宜上3グループにわけているが、リンクする部分はある。グループを越えて提案することは大事なので、検討する。

東海林委員 : 行事の連携は行っているが、小学校や中学校の地域での活動を高校の総合的な探究の時間につなげていくこともできるのではないか。例えば、鳥海山というテーマが考えられる。系統立てるのは難しいかもしれないが、小中高が別の角度で取り組めば、学びが深まるのではないか。

関屋教頭 : 小中高を貫いた一つのテーマで取組を行うのはおもしろい。

② その他

各委員から感想が述べられた。

茂木委員 : グループ3で活動してきて、以前から学習の継続性という話をしてきたが、それがここ数年根付いてきたと感じている。矢島で生まれ育って、地域に対しての愛着があるが、まだまだ理解が足りないこともある。自分がそうであったように、今の生徒も、矢島高校にいる間に地域について学ぶ機会を得ることができればいいのではないかと。

滝野委員 : やしまブランディングプロジェクトの活躍を見ると、今の高校生は頑張っているな、勉強しているなと感じる。他の高校では、なかなか地域のことは勉強できない。第八次秋田県高等学校総合整備計画の素案が出てきて、危惧しているところもあるが、矢島にある高校ということで、地域と一体となって、子供たちを育てていくということを進めていただきたい。小中高の連携と言葉では言うけれど、どうやってつなげていくかというあたりも議論していきたい。

真坂委員 : グループ1からグループ3まで全てがつながって構成されていると感じた。生徒が、地域で本物を見て、触れて学習をしている。地域で育てる体制を継続していただきたい。

大庭委員 : 矢島小学校が一体型校舎に移ってから半年が経った。高校の先生には小学生もお世話になっている。矢島駅の方から小学生、高校生、職員が歩いて来る光景は微笑ましい。小学生がいることで、高校生にいい意味で変化があればうれしいが、やりづらいことがあるとすれば、解決しなければならないので、遠慮なく教えてほしい。

東海林委員 : 矢島高校の生徒は素直で、地域と共に頑張っている。これは、他の高校にはない特色である。

池田委員 : いろいろな話を聞いて、自分の勉強不足を実感した。これからは、勉強しながら頑張っていきたい。

4 諸連絡

関屋教頭が、今後の予定について説明を行った。